



医療連携ニュース



2022年8月号

発行 東海大学医学部附属八王子病院 患者支援センター 医療連携室 TEL:042(639)1114 FAX:042(639)1115

残暑の候、貴施設におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当院の運営にご理解とご助力を賜り、また、多数の患者様をご紹介いただき、厚く御礼申し上げます。
このたび、東海大学医学部附属八王子病院医療連携ニュース2022年8月号を発行いたしました。
先生方が、ますます当院との医療連携を深めていただき、一助となれば幸いです。

患者支援センター所長 小田 真理、医療連携室長 角田 隆俊

稀な疾患である骨軟部腫瘍、肉腫(サルコーマ)診療を取り巻く診療実態

整形外科 講師 渡邊 拓也 医師



【専門分野】

骨軟部腫瘍 一般整形外科

【専門医・認定医】

日本整形外科学会専門医

希少がんという言葉は2016年のがん対策基本法及び推進基本計画の改正において明確に定義されており、罹患率が人口10万人あたり6例未満のがんとなっています。この希少がんの代表格とされているのが**悪性骨軟部腫瘍(=肉腫)**です。疾患の特徴としてはどの年齢でも生じますが、一般のがんよりも**小児や若年成人(AYA世代)**に罹患率が大きく傾いていること、**骨、筋肉、皮下脂肪、血管**など体中のどこにでも発生するという特徴があります。歴史的に本邦の肉腫診療は、骨軟部腫瘍を専門とする整形外科医がほぼ全面的に中心となり、1964年より全国登録を開始して臨床、基礎研究共に大きく発展させてきました。その間に骨肉腫やユーイング肉腫、横紋筋肉腫など、小児科医との連携をしつつ大量化学療法を主体とする標準治療を確立してきています。それでも肉腫は未だに難治性疾患の一つであり、再発例に対する新規薬剤の開発は少しずつ進んではいるものの、課題は多くあります。

肉腫を取り巻く診療上の問題は、前述の通り、体中どこにでも生じる可能性があることで、婦人科肉腫を除くと、**全体の約20%の肉腫患者さんは整形外科に初診しません**。疾患が**稀な上に、多彩な臨床像、病理組織像を示すので、正確な診断、治療には、かなりの専門的知識を要することがあり**、患者さんによっては他の診療科を介して肉腫の専門施設にたどり着くまでに多くの時間を費やしてしまうことも稀ではありません。

肉腫を扱える専門医は、日本整形外科学会の会員のうちでも200人程度(1%未満)であり、多くはがんセンターや大学病院など約70~80施設で専門的診療をしております。しかし、体中のどこにでもできるので整形外科医が単独で治療しきれるというものでもありません。小児科医、放射線科医、形成外科医、胸腹部外科医、泌尿器科医、頭頸部外科医などの協力も必須になります。このように診療科横断的に肉腫診療を議論し体制を整えるための学会も設立され(**日本サルコーマ治療研究学会**)、10程度の専門施設にて**サルコーマセンター**も設立されています。私もこの新しい大きな波の中で、長年肉腫診療に携わってきました。八王子、多摩地域は骨軟部腫瘍診療がやや手薄ということもあり、微力ながらお役に立てるよう努力させていただきますので、少しでも骨軟部腫瘍を疑う方がいらっしゃれば、ご相談、ご紹介いただけますようお願い申し上げます。



大腿骨遠位骨肉腫に対する患肢温存手術

顎変形症の診療と、顎変形症外来の設置への取り組み



口腔外科 助教 濱田 裕嗣 医師

【専門分野】

口腔腫瘍 顎変形症

【専門医・認定医】

日本口腔外科学会専門医

インфекションコントロールドクター

日本がん治療認定医機構がん治療認定医(歯科口腔外科)

口腔外科は、歯科治療の中でも外科的治療を専門に行う診療科であり、多くは抜歯や口腔領域にできる嚢胞、腫瘍の切除ですが、顎変形症の治療も行っています。顎変形症とは、下顎や上顎が前に伸びすぎたり、逆に小さかったり、または顎の歪みのために上下の歯のかみ合わせが大きくずれた状態をいいます。患者さんはうまく噛めない、言葉が発しづらい、食物の消化が悪いなどの症状を認め、顎口腔機能の低下がみられます。また、容貌に関して悩んでいる方も多くみられます。顎変形症は、歯科矯正治療のみでは目的を達成できない骨格的な形態・位置異常に起因する咬合異常であり、外科的矯正治療を行います。外科的矯正治療は、矯正歯科医と口腔外科医が連携して行うことで、健康保険が適応になります。基本的診療内容は、歯科矯正治療(術前・術後)と顎矯正手術(全身麻酔下、10日間の入院)で、治療期間は患者さんにもよりますが通常2~3年を要します。患者さんは当科へ受診された後、分析・評価を行い、口腔外科での治療の流れをご説明いたします。また、保険診療が可能な歯科矯正医でも精査とともに矯正治療の流れをお聞きいただき、方針が決定された後に治療が開始されます。現在当科では、顎変形症の治療にも重点を置いており、年間約20例の新規患者さんが受診され、手術を行っています。年々増加傾向にあり、今後も積極的な治療を行っていく予定です。

また2023年からは顎変形症学会の認定医制度が始まります。当科では認定医による治療はもちろんのこと、顎変形症外来の設置や研修施設の登録を予定しております。

より確実・安全な治療を目指し、正常な口腔機能の回復とともに、「審美」という面からも患者さんにご満足いただけるよう、今後とも診療を進めていきたいと思っております。

いつも先生方からのご紹介をいただき、診療をさせていただいております。口腔に関して、またさらには顎変形に関してお困りのことがありましたらお気軽にご相談いただければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



医療連携室からのお知らせ

当院では、午前8時から11時までに来院された初診患者様は、予約の有無にかかわらず診療いたします。(一部の診療科を除く)

ご紹介におかれましては、紹介状を作成いただき、当日に持参いただければ幸いです。なお、従来の事前予約による診療も行っております。

診療受付時間: 月曜日~金曜日、第2・4・5土曜日 8:00~11:00

休診日: 日曜日・祝日、第1・3土曜日、11月1日(建学記念日)、12月29日~1月3日

医療機関専用ダイヤル 042-639-1114

平日8:30~16:30、第2,4,5土曜日 8:30~14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115

24時間対応 * 受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

一般ダイヤル 042-639-1111(代表)

平日8:30~16:30、第2,4,5土曜日 8:30~14:30